

盛岡市立小中学校の第2次耐震診断結果（平成19年度実施分）について

平成20年6月2日

教育委員会

1 耐震診断結果

盛岡市立小中学校耐震化対策として、平成19年9月から平成20年3月まで、緑が丘小学校校舎及び大宮中学校屋内運動場の第2次耐震診断を実施した。第三者機関による判定については、「(財)岩手県建築住宅センター建築物耐震診断・耐震改修判定委員会」の承認を得た。

耐震性能評価（耐震指標Is値）等の結果は次の通りである。

(1) 緑が丘小学校校舎

※1	Is 値 X (建物の長辺) 方向	Is 値 Y (建物の短辺) 方向
棟1 (面積 2,463 m ²)	0.405 (1階)	0.160 (1階) ※2
棟3 (面積 523 m ²)	0.340 (1階)	0.343 (1階)
棟4 (面積 3,008 m ²)	0.459 (1階)	0.731 (1階)

※1 棟2は屋内運動場で第1次診断結果0.55（今回診断実施外）。

※2 耐震壁に開口部があるため、Is 値0.353を低減し評価。

すべての棟でIs 値が0.7未満であり、耐震化は必要であるとされた。しかし、現地調査やコンクリート試験結果等において、構造躯体は健全な状態であると判断され、耐震化に当たっては、補強工事での対応が可能であるとされた。

また、業務受託者から提案された補強計画は次の通りである。

- ① 工法：耐震壁・鉄骨ブレース設置、廊下外壁材撤去・サッシ設置等
- ② 概算事業費：約3億5百万円（すべての棟を補強する場合）

内訳＜棟1 約1億3千5百万円、棟3 約3千4百万円、棟4 約1億3千6百万円＞

(2) 大宮中学校屋内運動場

	Is 値 X (建物の桁) 方向	Is 値 Y (建物の梁間) 方向
屋内運動場	0.258	0.800

ブレースの設置箇所を変更し交換することで、耐震化が可能であるとされた。

また、業務受託者から提案された補強計画は次の通りである。

- ① 工法：ブレース設置（4箇所）
- ② 概算事業費：約6百万円

2 今後の対応

(1) 耐震補強工事

耐震補強工事については、第2次耐震診断で提案された工法や他の工法との比較、工事期間、授業への影響等を精査し決定していく。

今回（平成19年度）診断実施分については、Is 値0.3未満を示した棟を優先し、緊急に整備することとし、緑が丘小学校校舎の「棟1」及び大宮中学校の「屋内運動場」については、早期に工事を実施する予定である。

(2) 耐震化の促進

盛岡市立小中学校の耐震化に当たっては、「盛岡市耐震改修促進計画」との整合性を図り、平成 27 年度耐震化率 75%を目指して、第 2 次耐震診断及び耐震補強工事を推進する。

その際、第 1 次耐震診断で Is 値 0.3 未満は第 2 次耐震診断を早期に実施し、第 2 次耐震診断結果が Is 値 0.3 未満の場合は、緊急の整備が必要であることから、補強工事等により速やかに対応するものである。

◎整備概要

・地下自由通路整備

延長116m，幅員：通路部4.0m，階段部3.1m

上屋，エレベーター2基，防犯設備一式

・東西広場整備

東側：駐輪場160台，通路，駐車場(IGR)

西側：駐輪場340台，通路，停車帯

◎事業スケジュール

- | | |
|---------------------|--|
| 平成17年度 | 地下自由通路基本設計（工法比較検討，地質調査等）
関係機関協議（IGR，JR，鉄道・運輸機構） |
| 平成18年度 | 用地測量，用地交渉
関係機関協議（IGR，JR，鉄道・運輸機構，ソフトバンクテレコム） |
| 平成19年度 | 地下自由通路詳細設計，東西広場詳細設計，
用地取得，関係機関協議（IGR，JR，ソフトバンクテレコム） |
| 平成20年度～
22年度（予定） | 地下自由通路工事，東西広場通路・駐輪場等整備 |
| 平成23年度 | 地下自由通路供用開始（予定） |